

令和 8 年度 1 0 月行事予定			
1	木		中間 考 査
2	金	第 2 回英検(1 次) 学年集会(全学年) 四国新人大会壮行会	
3	土	四国新人大会陸上競技	
4	日		
5	月	各種委員会(昼休み) 面接週間(～9 日まで)	☺
6	火	進学者面接指導①	
7	水	校納金口座振替 ②③もち米稲刈り交流会(3 年アグリ+カルチャーコース) ⑥認知症サポーター養成講座(1 年 体育館)	
8	木	⑤⑥森林林業木材産業体験学習 2 回目(アグリ 2 年) 秋祭にかき夫指導 ⑤⑥オレワ高校との交流(1 年)	
9	金	⑥総探 ⑥愛媛大学出前講座(2 年紙のまちづくりコース) 祭り指導 自転車点検 JR 通学生指導	
10	土	ベネッセ・駿台記述模試 (3 年) フルハーネス講習会 高 P 連進路・家族フォーラム(伊予市)	
11	日	地域デザイン部サイクリングイベント	
12	月	(スポーツの日)	
13	火		地方祭
14	水	パン販売	↓
15	木	秋祭り最終日 (午前中授業)	
16	金	①②③スタディサプリ到達度テスト(1 年・2 年) ⑤愛媛大学出前講座(3 年紙のまちづくりコース)	
17	土		
18	日		
19	月	⑥修学旅行結団式 (2 年:武道場)	☺
20	火	⑤⑥港湾施設見学(3 年紙のまちづくりコース)	修 学 旅 行 2 年
21	水		
22	木		
23	金	遠足(1・3 年)	
24	土		
25	日		
26	月		☺
27	火		
28	水	全校朝礼 身だしなみ指導⑥	
29	木		身だしなみ週間
30	金	⑥総探(3 年) ⑥進路ガイダンス(1・2 年)	↓
31	土	ベネッセ総合実力テスト(1・2 年) ベネッセ駿台共通テスト模試(3 年)	

☺…スクールライフアドバイザー来校日

御意見・御感想は電話または FAX でお願いいたします。

電話：0896-74-2017 FAX：0896-74-7221

教務課より

9 月 29 日(火)から 2 学期中間考査が始まります。社会人になるときに求められる基礎学力や教養を養うとともに、日々の授業や学習の成果を振り返り、確認するための大変重要な考査です。考査前、考査中とも、それぞれしっかりと学習して臨むように、御家庭でも御指導くださいますようお願いいたします。

生徒課より

13 日(火)から 15 日(木)は地方祭となります。本校からは 11 人の生徒を土居地区地元太鼓台のかき夫として確認していますが、帰宅は 21 時まで(21 時以降は夜間徘徊・補導対象)となります。祭りにはルールを守り、危険な場所には近寄らず、トラブル等に巻き込まれないよう、自分の身体は自分で守る行動を心掛けさせてください。

*頭髮の染脱色や眉毛の加工、ピアスなどは禁止しています。御家庭でも十分御指導ください。

*家出、深夜徘徊等が多くなる月です。交友関係には十分気を付けてください。特に、深夜徘徊、外泊は問題行動の温床になるので、絶対にさせないでください。

*登下校のマナーが悪い生徒が見られます。「道幅いっぱいになって歩かない」「列車には乗客が降りてから乗り込む」「自転車に乗る時はヘルメットをかぶる」「歩きスマホをしない」等の基本的なマナーを守ることについて、御家庭でも御指導をお願いします。

●衣替えについて

一昨年度から制服の移行期間を廃止しています。気候・活動・学校行事に応じた制服の着こなしを心掛けさせてください。冬服の準備もよろしくお願いいたします。服装は、夏服または冬服のどちらでもかまいません(男子については、長袖のカッターシャツも可)。ただし、袖を腕まくりしたり、第二ボタンを開けたりするなどの着崩しは認めておりません。また、冬服になると、襟元や袖、裾から中着が出てしまうなど、身だしなみが乱れがちになります。これらの点を踏まえていただき、御家庭におかれましても、御指導をお願いいたします。



10月 土居高だより

図書研修課 桑原 光章

「読書の秋」 ～本を手にとってみませんか～

秋の訪れを感じることができるようになってきました。過ごしやすいくことから、スポーツの秋、食欲の秋、そして「読書の秋」と呼ばれる季節です。

「読書」について、文化庁が2023年度に「国語に関する世論調査」を実施したところ、「1カ月に本を1冊も読まない人が6割を超える」という結果が明らかになり、近年指摘されている「読書離れ」が改めて浮き彫りとなりました。読書量が減った人に理由を問うと、スマホやゲーム機など「情報機器で時間が取られる」と答えた人が43.6%で最も多く、本を手にする機会の減少につながったようです。

一冊の本との出会いを静かに、温かく描いたマンガ『本なら売るほど』（児島青著 株式会社KADOKAWA発行）という本があります。この本は、「マンガ大賞2026」大賞、「このマンガがすごい！2026」オトコ編第1位に選ばれました。

マンガの舞台は、「十月堂」という古本屋です。若い男性店主の人柄と魅力的な品ぞろえに惹かれて、いろいろなお客が店を訪れます。本好きの常連さん、背伸びしたい年頃的女子高生、不要な本を捨てに来る男、夫の蔵書を売りに来た未亡人。ふと手にした一冊の本との出会いが、思わぬ縁をつないでいきます。

私自身の思い出深い一冊の本との出会いを紹介します。

大学生の頃、講義の空き時間に大学生協の書籍部に立ち寄ることを日課としていました。ここには、私が通う大学の学生のニーズに合わせた様々な書籍が並んでいて、町の書店とは一味違った雰囲気を感じていました。

そして、その生協で私が手に取ったのが、岩波文庫の「君たちはどう生きるか」（吉野源三郎著）でした。この本は、1937年に発行された本ですが現在もなお読み継がれています。この本との出会いが、社会科学の面白さに触れ、社会科の教員を目指すきっかけになりました。社会科学的なものの見方を身に付けていくことで、自分の周りの世界の見え方、捉え方が変化し、主人公のコペル君が成長していく姿、そして、その成長を見守る叔父さんの眼差しに共感しました。社会科学の楽しさを伝えようと、指導方法を自分なりに工夫して、「君たちはどう生きるか」の意味を追いかけて教壇に立つてきました。

皆さんにもそうした一冊の本との出会いをしてくれたらいいなあと思っています。

『本なら売るほど』は学校の図書室にも置いています。興味をもってくれた人がいたら、特別教棟4階の図書室まで足を運んでもらえればと思います。他にも図書室には25,000冊を超える蔵書があります。たくさんの本の中から、ひょっとしたら人生と関わるような本との出会いができるかもしれません。